

| 科目区分 | 統合分野 | 科目名 | 看護研究 | 対象学生 | 第2学年 |
|--------------|---|----------|----------|------|------|
| | | 単位数(時間数) | 1単位(15H) | 学 期 | 第2学期 |
| 担当講師 | 橋本 笑子(臨床経験11年、教育経験21年) | | | | |
| 科目目標 | 1. 看護を科学的に見る思考力を養う。 2. 看護における研究の意義、目的を学ぶ。 3. 看護研究の必要性を認識し、実践者、協力者としての基本的知識・態度を学ぶ。 | | | | |
| 授業概要 | <p>第1回 看護研究の定義と意義 (講義) 1) 研究のはじまりと疑問を持つこと 2) 看護研究とは 3) 看護研究の意義・目的 4) 看護に関する疑問 リサーチクエスチョン</p> <p>第2回 情報の探索と吟味ー文献レビューとその方法 (講義) 文献検索方法の理解 (講義)</p> <p>第3回 文献検索演習(テーマの絞り込み) (演習) 研究における倫理的配慮</p> <p>第4回 研究デザインー研究の設計と方法の選択 (講義) 看護研究の種類と方法 (主な研究の種類: 記述的研究、実験研究、調査研究、事例研究など) 研究プロセス 質的研究のプロセス、量的研究のプロセス、ミックスメソッド</p> <p>第5回 データ収集方法 (講義) データ分析(結果の示し方、統計処理方法の適応など)</p> <p>第6回 研究計画書の作成 (講義) 研究の背景・文献検討・新規性・研究価値・意義、研究動機、倫理的配慮 研究目的、研究デザイン、研究方法、分析方法、研究計画、文献リスト</p> <p>第7回 論文構成・論文の記述方法・ケースレポートの進め方 (講義) (はじめに、研究目的、倫理的配慮、研究方法、結果、結果に基づいた考察、結論、研究の限界 おわりに、引用参考文献) ケースレポートの論文構成・論文の記述方法 (はじめに、研究目的、倫理的配慮、研究方法(分析方法)看護の実際(患者紹介、看護問題・計画 ・実施・評価の実際(結果))、結果に基づいた考察、結論、研究の限界、おわりに、引用参考文献) 図・表・資料の作成・表示方法、参考文献・引用文献の記述方法 抄録・要約の記述方法、パワーポイント等の効果的な活用</p> <p>発表方法について (GW) 学会参加をとおして、自己の課題をふりかえりながらプレゼンテーションに ついて考える</p> <p>第8回 終了試験(1H)</p> | | | | |
| 授業の進め方 | 学会で聴講した研究から学習になったこと、もっと知りたいと思ったこと、わからなかったことなどから「疑問」を導き出し、文献検索を行う過程をとおし、体験的に研究プロセスを学習する。 | | | | |
| 履修のポイント・留意事項 | 1. 文献検索(文献を調べる)、文献活用を身につける。 2. 看護研究演習(3年次)の授業につながる知識を身につける。 3. 実際に学会に参加し、口演、示説発表を聴講することで研究発表の意義を学ぶ。 | | | | |
| テキスト | 看護研究 医学書院 | | | | |
| 評価方法・配点 | 終了試験および課題学習を総合して行う。 課題学習(30点)、終了試験(70点) | | | | |